回　覧

「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！

岸根町町内会自主防災だより（第 35 号）

2025 年（令和 7 年）7 月　自主防災部発行

各地では梅雨も明けて、入道雲も見られ夏間近となっています。
連日猛暑続きで、体調もすぐれないことと思います。天気も急激に変化します。この**急変の原因は「積乱雲」**という雲です。
これからは、雷雲や雷注意報などにも気を付けましょう。
今回は、**雷による人命危険の予防策や家庭内における停電対策**などについて学びましょう！

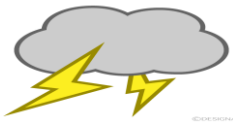
☆雷が発生する仕組み

1　湿った空気が上空にのぼり、雲が発生する。
2　雲の中で氷の粒が沢山発生する。
3　氷の粒がぶつかり静電気が発生する。
4　雷がおちる。

◇1 回の雷がもつ電気のエネルギーは莫大で、電圧にすると**約 1 億ボルトといわれています。私たちが家庭で使う電気の電圧は約 100 ボルトですので、この 100 万倍に相当します。**落雷によって大きな被害が発生します。

（かんでんＷＩＴＨ　ＹＯＵより一部転用しました）

☆雷の速さは　1 秒に 340m



雷鳴は音の一種ですから、その他の音と同様の速さ（音速）で伝わります。その速さは、1 秒に 340mほど進む速さ**（秒速約 340m）です。**
1 秒間で 340mなので、**2 秒で 680m、3 秒で 1,020 m（約 1ｋm）**となります。音が何秒後に聞こえたかで、雷が発生した場所からの距離がわかります。

☆雷から身を守るために

（※NHK　NEWSWEBトップ　災害列島より一部転用しました）

○ 平地、ゴルフ場、キャンプ場、海上・海岸、木の下、森の中、野外フェス、花火大会の会場など**雷鳴が聞こえたら、速やかに安全な場所に避難**をしましょう。
○ どこに逃げる
　・建物の中　　・車などの乗り物の中　・外にいるときに雷に遭遇し、周囲に逃げ込む場所が無い場合は**「雷しゃがみ」**で身を守りましょう。（両足をそろえ、膝を折って姿勢を低く）
○ 活動再開の目安は**「雷鳴が 30 分間聞こえないこと」**
○ **直撃でも蘇生措置**をしましょう。ＡＥＤがあれば使用、なければ心臓マッサージ、119 通報も
○ 屋内でも**電気器具、天井、壁から 1m以上離れましょう。**
○ **停電対策**も忘れずに！**懐中電灯**や**携帯の予備電池**なども手元に置いておきましょう。